

税込

★

★

CODE:A402420BL
TYPE:PM-BST3

《警告表示》

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったりケガをしたり製品がこわれるなどの恐れがあります。
この表示の欄は取扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が懸念される」内容です。

《注意事項》

●お客様の安全のために、ご使用になる前に必ずこの説明書をお読みください。読まれたあとは大切に保管してください。
●ポンプの改造、分解、ペイントは絶対にしないでください。
●ポンプに穴をあけたり、削ったり、改造したりすると非常に危険です。また、塗料や熱の影響により材質が侵され性能が低下するおそれがありますので、絶対にしないでください。



●使用前に次の点検をしてください。
1. 握り(グリップ)やフートストラップに亀裂や変形がないこと。
2. シリンダ本体とシリンダキャップとの固定が確実で、緩みがないこと。
3. シリンダ本体と台座との固定が確実で、緩みがないこと。

●シリンダキャップや握り(グリップ)を外したり、分解しないでください。
い。使用中に破損するおそれがあります。

●損傷、変形、緩み等の異常がある場合はすぐに使用を中止してください。少しでも異常を感じた場合は使用を中止し、ご購入いただいた販売店またはお客様相談室にご相談ください。

●ご使用は平らな場所で行ってください。

●ご使用の際にタイヤに空気が入らなくなった場合は、無理に空気を入れず直ちに使用を中止してください。ポンプ内が高圧になって破裂等のおそれがあります。異常がある場合は、販売店またはお客様相談室にご相談ください。

販売元 **ブリヂストンサイクル株式会社**

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3丁目1-1
お客様相談室 受付時間：9：00～19：00
(日・祝日及び弊社指定休日は休み)
電話：☎0120-72-21911、FAX:048-72-5316
(国際電話・インターネット電話での利用はできません。)

made in CHINA

SGマークは製品安全協会が定めるSG基準に適合するものとして認証された製品に表示される安全・安心マークです。
SGマーク付き製品の欠陥により人身事故が発生したときは賠償措置が講じられます。詳しくは製品安全協会へお問い合わせください。



紙：台紙

リ：バンド(ナイロン)

●このポンプは、ポンプの交換はできません。

●火気の近くや高温になる場所に置かないでください。

●安全弁の万一の故障も考慮し、過大な空気圧で充てんされることを防ぐために、タイヤを手で押すなどして適正な空気圧であることを確認してください。

●空気圧はタイヤの指定空気圧に従ってください。

●ゴム、樹脂部品は経年劣化により変色・変形・破損が生じる場合があります。異常がある場合は直ちに使用を中止してください。

●直射日光が当たる場所に放置したり、雨ざらしにしないでください。劣化しやすくなります。

《取扱説明書》

【1】バルブの種類

このポンプは以下のバルブに対応できます。

英式バルブ

米式バルブ

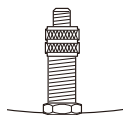


図1

【3】空気の入れ方

※タイヤ・チューブのバルブの前準備は、各種バルブの使い方をよくご覧ください。

《英式バルブの場合》

- 1 口金の口金レバーが図4のようにおきていることを確認し、英式バルブ用トンボ口金を差し込みます

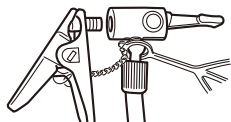


図4

- 2 図5のように英式バルブ用トンボ口金をしっかり差し込んだら、図6のように口金レバーを倒し、英式バルブ用トンボ口金が接続されていることを確認してください。

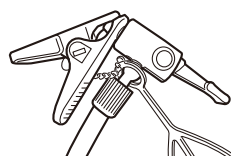


図5

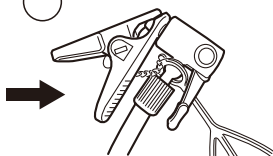


図6

- 3 図7のように英式専用トンボ口金を指でつまんで開き、矢印の方向にタイヤ・チューブのバルブを差し込んでください。

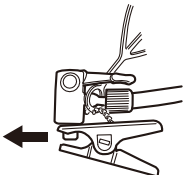


図7

《米式バルブの場合》

- 1 口金の口金レバーが図10のようにおきていることを確認します。

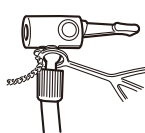


図10

- 2 図11のように米式バルブに差し込み、図12のように口金レバーを倒します。



図11

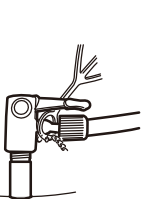


図12

- 3 最初に軽くポンピングをし空気が入るかを必ず確認してから、しっかりと下までポンピングをし、空気を入れてください。

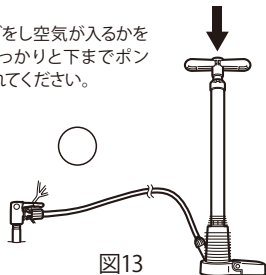


図13

- 4 空気を入れ終わったら口金レバーをおこし、タイヤ・チューブのバルブから取り外してください。



無理にタイヤ・チューブのバルブから取り外すとタイヤ・チューブのバルブや口金が破損する恐れがありますのでご注意ください。

【2】各部の名称

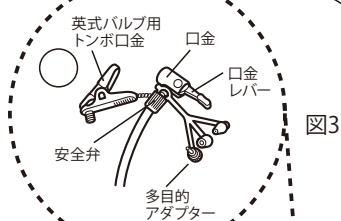


図3

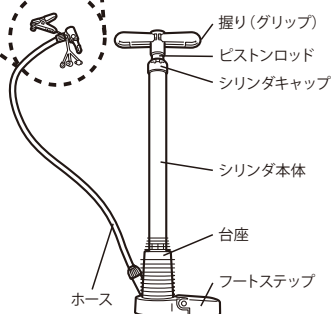


図2

- 4 図8のように英式専用トンボ口金とタイヤ・チューブのバルブを接続してください。

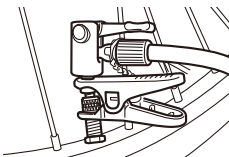


図8

- 5 最初に軽くポンピングをし空気が入るかを必ず確認してから、しっかりと下までポンピングをし、空気を入れてください。

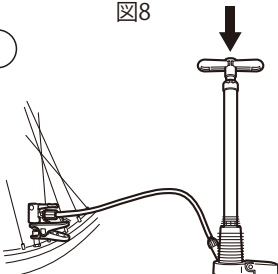


図9

- 6 空気を入れ終わったら英式専用トンボ口金を指でつまんで開き、タイヤ・チューブのバルブから取り外してください。



無理にタイヤ・チューブのバルブから取り外すとタイヤ・チューブのバルブや英式専用トンボ口金破損する恐れがありますのでご注意ください。

《ボールや浮き輪などに空気を入れる場合》

- 1 目的に応じて、図14の通り多目的アダプターから選んでください。



図14

- 2 口金の口金レバーが図15のようにおきていることを確認します。

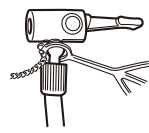


図15

- 3 目的別にアダプターを選択したら、口金にしっかりと差し込み、図16の通り口金レバーを倒しアダプターが固定されていることを確認してください。

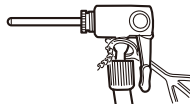


図16

- 4 空気を入れ終わったら口金とアダプターを接続したまま対象物から引き抜いてから、口金レバーをおこしアダプターを取り外してください。



口金レバーをおこしてから空気を入れた対象物から引き抜くと、多目的アダプターが破損したり、浮き輪やボールが使えなくなったりする恐れがありますのでご注意ください。